

# 斜面对策用パッカー工法

## 斜面对策用パッカー工法

斜面对策工法として地すべり等を抑止する「グラウンドアンカー工」や表層崩壊の防止を目的とした「ロックボルト工」に於いて、注入打設時に漏水が著しい亀裂性岩盤や湧水箇所では、グラウトの流出により定着が困難になるケースが数多く見受けられます。

弊社の保有するパッカー材は、このような岩盤・地層への充填注入が確実にできることから定着不良の防止化が図られ、周辺地盤への汚染防止にも効果が見込まれます。

また、グラウト材の注入ロスが極めて少なく、シンプルな構造による取付・施工方法の簡便さから経済性においても向上することが期待できます。

斜面对策用パッカー工法として、各規格に対応したグラウンドアンカー用の『シームレスパイレンパッカー (®)』とロックボルト用の『ロックボルトパッカー (®, PAT.)』を各種、取り揃えています。

## シームレスパイレンパッカー

### 【シームレスパイレンパッカー標準仕様】

区分	品名	織り巾	形状	材質
呼径 90用	SPW-140	140mm	シームレス	ポリプロピレン繊維
呼径 115用	SPW-160	160mm		
呼径 135用	SPW-180	180mm		
呼径 146/165用	SPW-260	260mm		

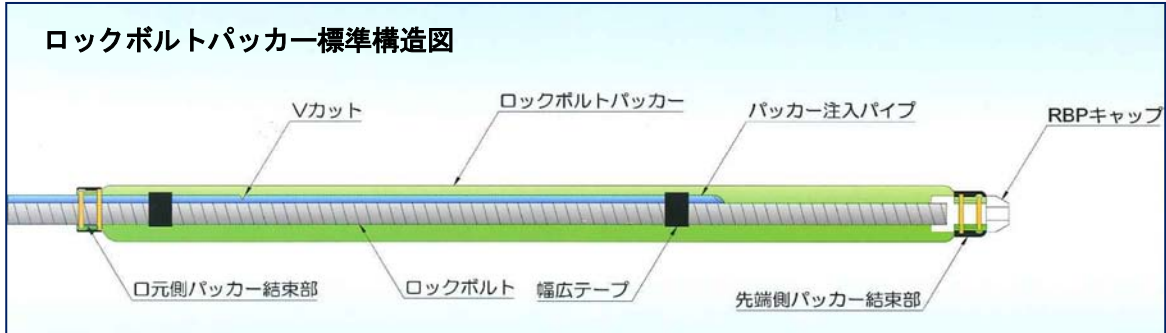


注入前のシームレスパイレンパッカー



注入後のシームレスパイレンパッカー

## ロックボルトパッカー



### 【ロックボルトパッカー標準仕様】

適用削孔径	品名	織り巾	形状	材質
DHD65システム	RBP-100	100mm	シームレス	ポリプロピレン繊維 + 綿糸
DHD3.5システム	RBP-120	120mm		
RPD90システム	RBP-140	140mm		
RPD115システム	RBP-160	160mm		



注入前のロックボルトパッカー



注入後のロックボルトパッカー

※シームレスパイレンパッカーとロックボルトパッカーの膨張最大径は注入圧 0.2MPa 時に、膨張最大径=(織り巾×2/π)×1.3 となります。  
(編織しているためあくまでも目安値であり保証値ではありませんのでご了承下さい)